

都道府県がん診療連携拠点病院
連絡協議会 平成27年7月3日

地域がん医療体制における鹿児島県 ならびに鹿児島大学病院の取り組み

鹿児島大学医学部歯学部附属病院
腫瘍センター長
上野 真一



がん対策基本法

がん対策推進基本計画（2007～）

- 地域がん診療連携拠点病院（厚労省）
（都道府県がん診療連携拠点病院）

全国どこでも質の高いがん医療を受けられるように体制整備。

しかし、全国の「がん診療連携拠点病院」の間で、施設間

格差がある（2011） ⇒ 均てん化

- がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（文科省）

(1)がん教育研究基盤の構築

(2)がん教育改革の推進

(3)がん医療の均てん化

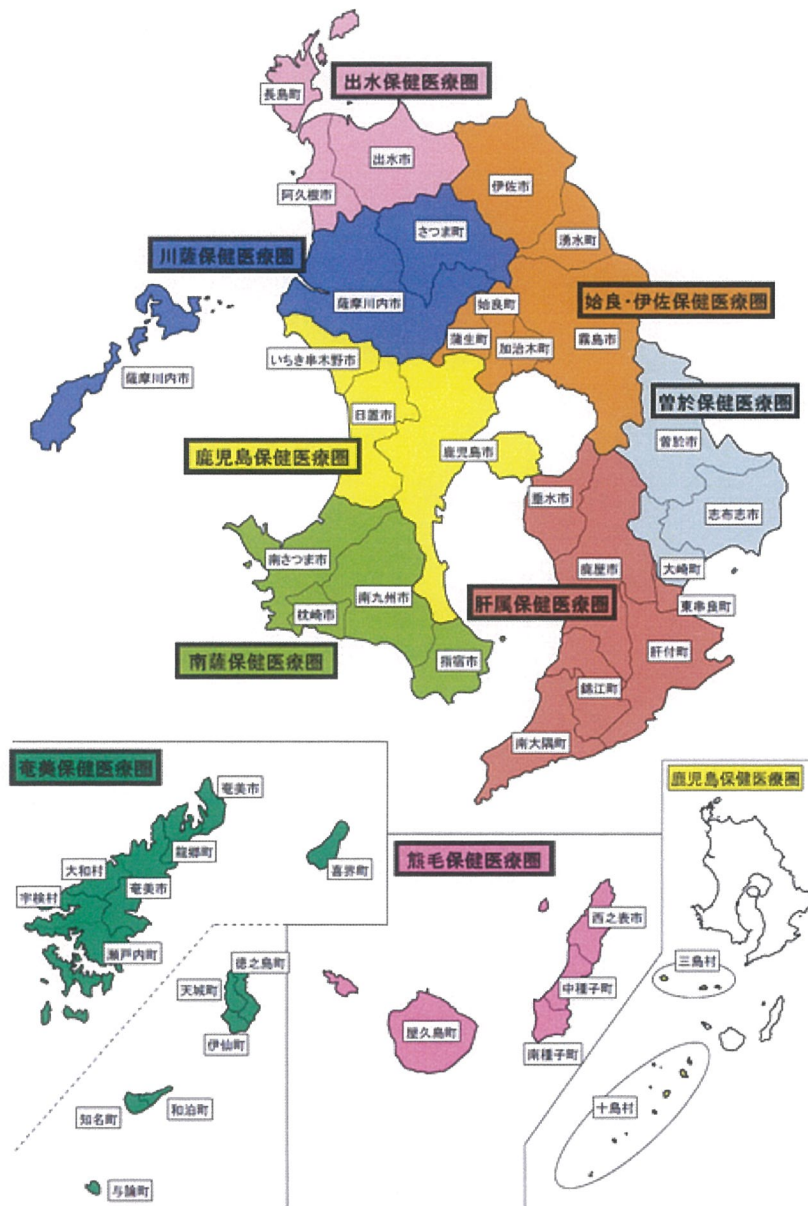


紹介内容

鹿児島県と鹿大病院の取り組み

- 拠点病院・指定病院との取り組み
- 拠点病院から地域へ

鹿児島県の二次医療圏



がん診療連携拠点病院(9)

- 鹿児島大学病院 (都道府県がん診療拠点)
- 独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター (鹿児島市)
- 鹿児島市立病院 (鹿児島市)
- 県立薩南病院 (南さつま市)
- 済生会川内病院 (川内市)
- 独立行政法人国立病院機構南九州病院 (始良市)
- 県民健康プラザ鹿屋医療センター (鹿屋市)
- 公益財団法人昭和会今給黎総合病院
- 県立大島病院 (奄美市)

特定領域がん診療連携拠点病院(1)

社会医療法人博愛会 相良病院

地域がん診療病院(1)

- 出水郡医師会広域医療センター

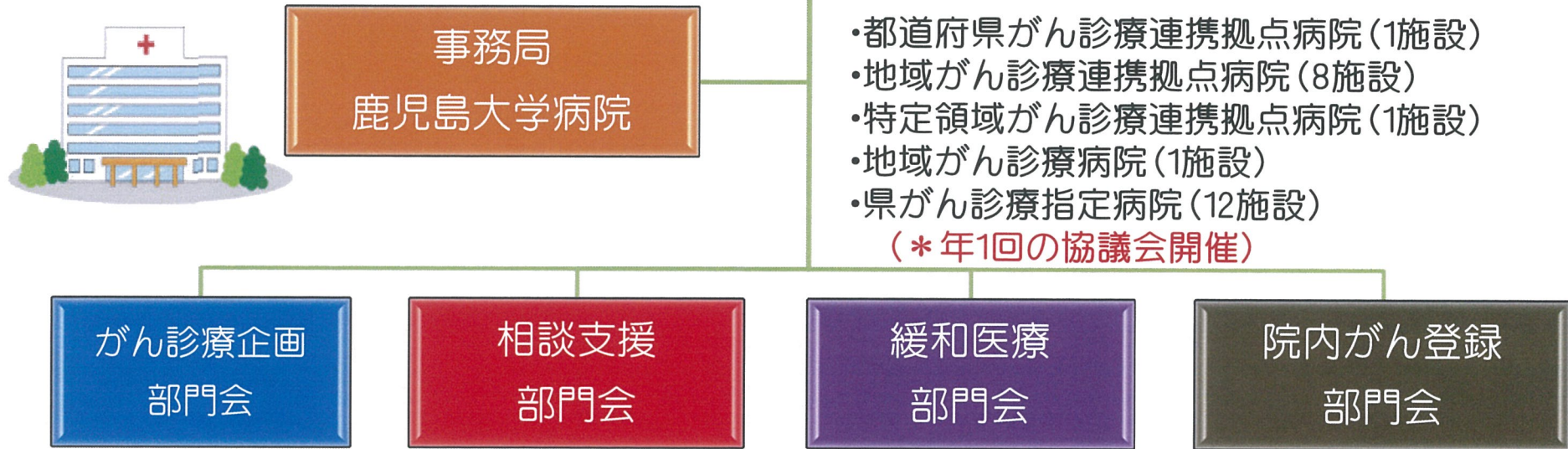
県がん診療指定病院 (12)

- 公益社団法人鹿児島共済会南風病院
- 鹿児島厚生連病院
- 公益財団法人慈愛会今村病院
- 鹿児島市医師会病院
- 出水総合医療センター
- 社団法人川内市医師会立市民病院
- 鹿児島県立北薩病院
- 霧島市立医師会医療センター
- 特別医療法人聖医会サザン・リージョン病院
- 独立行政法人国立病院機構指宿病院
- 社会医療法人鹿児島愛心会大隅鹿屋病院
- 社会医療法人義順顕彰会田上病院



4部門合同研修会の整備

鹿児島県がん診療連携協議会



がん医療均てん化
顔の見える関係作り

4部門合同研修会

メンバー構成:各拠点・指定病院医療者(医師、薬剤師、看護師、MSW)、
県庁健康増進課、NPO法人がんサポートかごしま(患者会)

- *平成24年11月～ 各部会を設置し、取り決め、研修、事例検討などを開始。
- *平成25年6月～ 定期的に4部門合同研修会と部門別研修会開始。



4部門合同研修会

【要項】

- ・ 年2回開催 (金曜もしくは土曜午後)
- ・ 二部構成 第一部: 全体研修会 (講演、病院取り組み報告)
第二部: 部門別研修会 (事例検討、今後の取り組み等)

【第一部】 平成27年3月21日第4回 (参加者160名)

がんパスに関する川内市民病院の取り組み
(地域医療連携室 本山栄一氏)



がん相談支援センターに求められる役割・機能
について (高山智子先生)





【第二部】 それぞれの部門別研修会



グループワーク

相談支援



事例検討

がん登録 (年5回中2回を同日に)



緩和医療



がん診療企画(化学療法)



がん相談支援部門の取り組み

	全体研修会(第一部)	事例検討(二部)	協議・報告等
平成24年度	第1回 (H24.11.9)	<ul style="list-style-type: none"> ・肺がん患者が粒子線治療を医師に相談し、治療を拒否された患者への対応 	【協議】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度のがん相談支援部門会活動について 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域相談支援フォーラム(九州・沖縄ブロック)の概要について(実行委員会報告)
	第2回 (H25.2.8)	【部門会単独研修会】 「新しいがん治療のかたち(粒子線治療)」 講師:メディポリス医学研究財団 菱川良夫氏	【協議】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域相談支援フォーラム(九州・沖縄ブロック)の概要について(フォーラムの報告) 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度のがん相談支援部門会活動について ・国内・県内のピアサポーターの動きについて ・メーリングリストの活用について
平成25年度	第3回 (H25.6.1)	【合同研修会:がん相談支援部門企画】 「がん診療連携クリティカルパス研修会」 講師:熊本赤十字病院 血液膠原病内科部長 吉田稔氏 講師:熊本大学病院 私のカルテセンター コーディネーター 里山弘子氏	【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会報告 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・国立がん研究センターがん対策情報センター職員3名から自己紹介・挨拶 ・相談員サロンの開催について ・県、県政広報番組への協力について ・R・F・Lジャパンかごしまについて
	第4回 (H26.2.21)	【合同研修会:がん診療企画部門企画】 「最新化学療法」 講師:熊本大学附属病院 がんセンター外来化学療法室長 野坂生郷氏	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な問題を抱えた相談者に対して、相談者としてどのように対応すべきか? 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・第2回九州・沖縄フォーラム開催報告 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の活動について等
平成26年度	第5回 (H26.7.26)	【合同研修会:がん登録部門企画】 「愛媛県がん診療連携協議会の取り組み」 講師:独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター 寺本典弘氏	【業務検討】 <ul style="list-style-type: none"> ・自院のがん相談支援センターの課題への取り組みについて報告・検討 【報告・連絡】 <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会報告 ・九州・沖縄ブロック相談支援フォーラムについて ・がん相談支援事業について ・がん医療を語ろう サロンについて ・R・F・Lジャパンかごしま報告

□がん相談支援センターの業務体制及び成果等について

課題 (PLAN)	実践 (DO)	評価 (CHECK)
<p>がん相談支援センターの周知・広報</p> <p>・院内職員への周知</p> <p>・院外(患者さん等)への周知</p>	<p>・各外来(医師・看護師)への相談支援センター紹介カードの配布</p> <p>・病棟カンファレンス・症例検討会に積極的に参加し,センターをPR</p> <p>・院内MLでの紹介カードのPR</p> <p>・医局会・外来会での医師・看護師への周知</p> <p>・各病棟研修会でがん相談員が相談対応していることをPR</p> <p>・リレーフォーライフに参加し相談支援センターのPR実施</p> <p>・がん告知,病状説明時への同席</p> <p>・がん相談支援センターの各種がん疾患パンフを設置</p> <p>・センターの案内ミニチラシを入院案内の中に掲載</p> <p>・常時,センターのドアを開放状態に。</p> <p>・直通電話の開設,ホームページへの掲載</p> <p>・院内掲示板へセンターの案内表示</p> <p>・「私の手帳」の説明会実施</p>	<p>・カンファレンスへの出席により,医師や他職種と顔の見える関係づくりが出来,病状説明時に声がかかり,同席できた。</p> <p>・患者説明時に同席することで,患者と継続的関わりが出来るようになった。</p> <p>・医師,病棟看護師からターミナル期の患者への在宅療養への支援依頼が増えた。</p> <p>・紹介カードを持参され,「これを見てきました」との相談例。</p> <p>・「ポスターを見ました」との相談例。</p> <p>・入院案内にチラシを入れることで,入院患者全員にがん相談の案内を配布することが可能となった。</p>
<p>患者サロンの充実</p>	<p>・患者サロンの各月の予定が入ったポスター作成及び掲示</p> <p>・月ごとのサロンの開催案内をリンクナースにメール配信し,必要時,印刷して入院患者へ紹介してもらう</p>	<p>・ポスターや患者サロン案内を活用して紹介する病棟看護師が増えた。</p>
<p>地域との連携強化</p>	<p>・年度当初の挨拶回り(4,5月に52ヶ所)</p> <p>・交流会の企画(7/16)次回12月</p> <p>・地区の介護支援専門員研修会で,センターのPRやセカンドオピニオンについて説明</p> <p>・「私の手帳」の説明会実施</p> <p>・病院所在地の市役所に出向きセンターリーフレットを配布</p>	<p>・連携化がスムーズになった。</p> <p>・「看取り」をテーマにした研修会に医療・福祉施設より多数参加(約100名)。</p> <p>・「私の手帳」を使用したいと在宅医から申し出。</p>
<p>他職種合同カンファレンスの開催</p>	<p>・病棟カンファレンスや症例検討会に積極的に参加</p> <p>・がん相談支援センターと緩和ケアチームの週1回のカンファレンス及びミーティングの実施</p> <p>・情報共有のカンファレンス実施(自部署:毎日,他部署:週1回)</p>	



がん診療連携クリティカルパスの整備

がん患者さんを拠点・指定病院と地域が連携してみるために

お薬手帳入れです

(検査データを入れる際にもお使いください)

お薬手帳は、がんの治療に限らず、
お薬の処方を受ける際には必ず薬局
に提示するように促してください。



私の手帳

(がん診療連携パス)



肺がん
胃がん
大腸がん
肝がん
乳がん
前立腺がん
子宮がん
汎用版

鹿児島県

2013年4月 第2版



県補助事業によりセンター開設

「私の手帳」センターは、鹿児島県内の「私の手帳」の普及・啓発活動や改訂作業および連携手続きのとりまとめを行っています。

 鹿児島県「私の手帳」センター

 099-275-6529

HOME

「私の手帳」とは?

患者さまへ

医療関係者の方へ

鹿児島県がん診療連携拠点病院

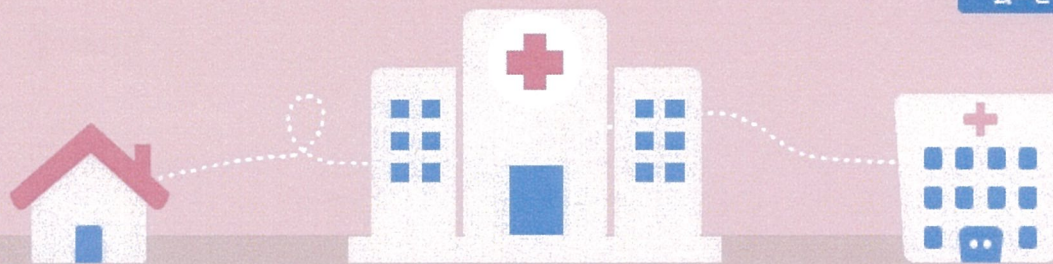
お問い合わせ

「私の手帳」とは
地域のかかりつけ医と病院の医師が
患者さまの診療経過を共有できる診療計画です。



「私の手帳」物語

[ムービーを見る](#)



患者さまへ

「私の手帳」の
対象や使い方など
ご紹介しています。



医療関係者の方へ

連携バスの種類や
連携の流れ、診療報酬算定を
ご案内しています。



鹿児島県がん診療
連携拠点病院

鹿児島大学病院 腫瘍センター
等をご案内しています。





 お知らせ [過去の記事を見る](#)


2015.05.01 「私の手帳」物語ムービーをご覧になれます。


2015.04.01 新人コーディネーターが着任致しました

2015.04.01 連携医療機関一覧を更新いたしました

がん診療連携拠点病院
指定病院 

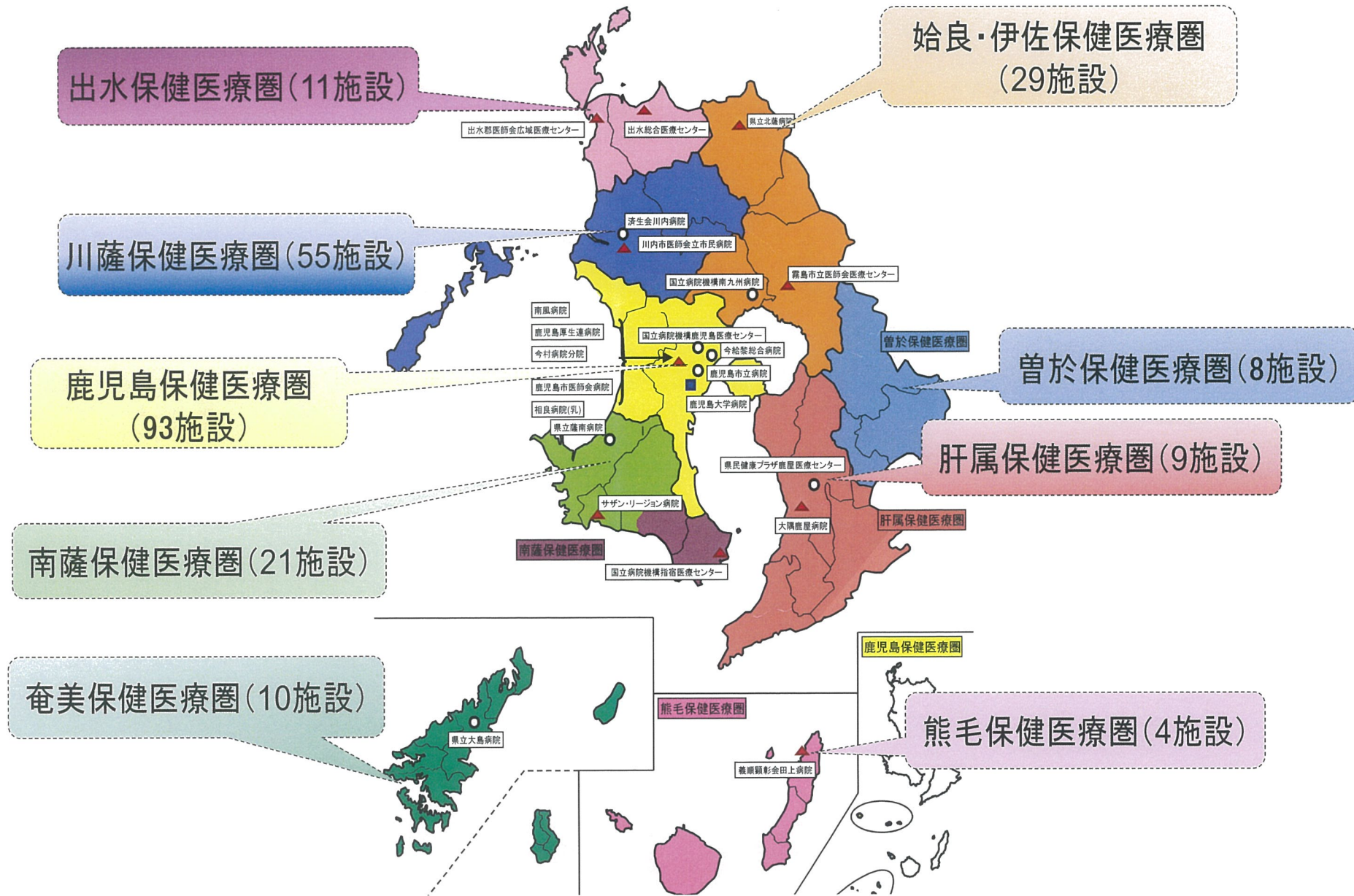
私の手帳ダウンロード 

ガイドブック/リーフレット
ダウンロード 

相談窓口のご案内 

◆届出済み連携医療機関数（二次医療圏ごと）

「私の手帳」センターによる一斉届出により、
 県内すべての拠点・指定病院との連携手続を行った連携医療機関は**240施設**です（平成27年4月1日現在）





各地域での「がん医療連携」研修会

大学病院(腫瘍センター、緩和ケアセンター、「私の手帳」センター)と各拠点・指定病院との共催

対象: 連携病院・在宅支援診療所医療者
専門薬局薬剤師
訪問看護師、保健師、介護士

内容: ・地域包括ケア時代におけるがん医療連携
・情報共有のための連携パス
・緩和医療連携



奄美



出水



鹿屋

DVD上映
「私の手帳」物語

※ 県内11カ所で開催、参加者1400名



連携機関や住民への取組

「私の手帳センター」コーディネーターによる
希望診療所への訪問説明（現在約40カ所）

連携機関への広報便り

始良

「私の手帳」センター

ガーベラ便り

Gerbera Information

vol.01

contents

- センター長 上野 真一の挨拶
- 「私の手帳」とは
- 本市圏内での「私の手帳」発行の進捗
- 地域の取り組み「ペーパーワーカー」
- がん相談支援センター
- がん相談支援センター
- 鹿児島がん相談支援センターの取組
- 「私の手帳」センター
- 市民生活者「私の手帳」発行促進

センター長より
ごあいさつ

住み慣れた地域で安心して
生活できる環境整備を回ります。

地域ケア時代のがん医療を念頭に、専門病院と地域医療機関との連携、また地域医療者間の情報共有を実現して、「鹿児島癌ゲート（がんパス）」の整備を図って参ります。市内11のがん診療拠点病院とがん診療機関、また1か所の指定病院、2か所のがん相談支援センターと連携による「私の手帳センター」開設も大きく貢献しました。この際、市内11か所での地域医療再生事業補助金による個別訪問やがん検診のペーパーワーカーが始められたこと、平成26年度の開設では、到達目標であった148冊を大きく上回る事ができました。市内には高齢者が多く、この冊子によって遠方に住む方への情報伝達が楽になったと好評も聞いております。今回、初めてのセンター連携「ガーベラ便り」を発行する運びとなりましたが、関係機関の皆様とのご協力に感謝しております。



鹿児島「私の手帳」センター
センター長
上野 真一

川薩保健医療圏(55施設)

鹿児島保健医療圏
(93施設)

南薩保健医療圏(21施設)

“医師向け「胃がん」勉強会”のご案内
～今後のがん医療連携強化 及び
「私の手帳」の普及に向けて～

済生会川内病院
鹿児島大学病院 消化器外科
「私の手帳」センター



肝属

病院内や公的施設でリーフレット配布

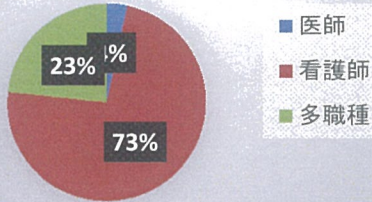




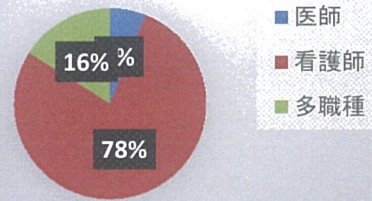
緩和ケア医療連携・・・地域研修会

鹿児島大学病院緩和ケアセンター

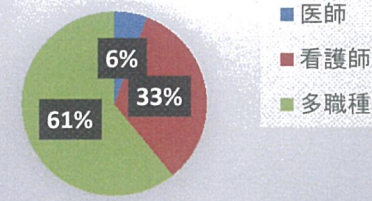
① 浩然会病院



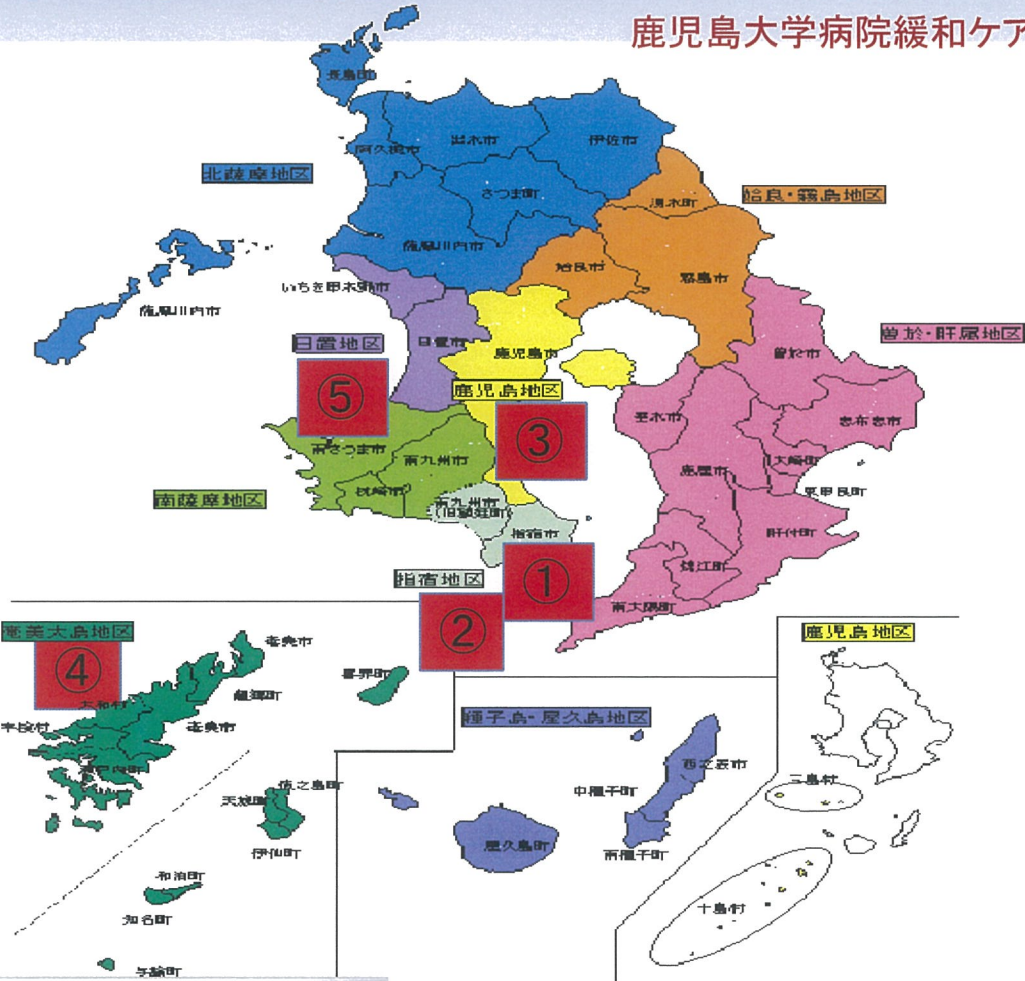
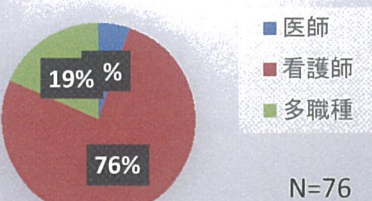
② 指宿医療センター



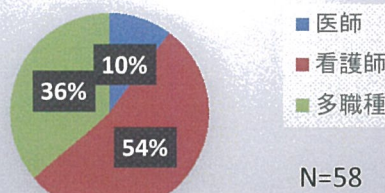
③ 県医師会



④ 県立大島病院



⑤ いちき串木野



注) アンケートN値と参加人数は異なります。



研修内容

緩和ケア医療連携

	開催日	開催場所	テーマ	参加人数
H26年	10/9	浩然会病院	緩和における看護の基本 「症状緩和の基礎」 「意思決定支援」	60人
	11/27	国立病院機構 指宿医療センター	「緩和ケア医療とは」 「がん化学療法的主要副作用と対策」 「化学療法を受けている患者・家族のセルフケア」	51人
	12/9	県医師会館 (web研修)	「診断時から切れ目のない緩和ケア医療の提供」 「精神症状(せん妄を含む)への対応について」	112人
H27年	2/9	県立大島病院	「私の手帳」発行状況報告 「がんと診断された時からの緩和ケア普及のために ～疼痛のスクリーニングをはじめて～」 「がん治療期の苦痛を軽減するための緩和医療」	76人
	6/11	いちき串木野市	「在宅で緩和ケアを提供するために必要な知識」	58人

* 平成26年10月～平成27年6月末までの開催研修一覧



まとめ

鹿児島県と鹿大病院の取り組み

■ 拠点病院・指定病院間の取り組み

- ・ 4部門合同研修会
- ・ 県下統一版「私の手帳」整備・・・センター開設

■ 拠点病院から地域へ

(鹿大病院と地域拠点・指定病院共催)

- ・ 地域医療者向け「がん医療連携」研修会
- ・ 緩和ケア医療連携研修会 (PEACE研修補完)
- ・ がん診療連携先医師向けのがん種別勉強会
- ・ 市民公開講座、リーフレット配布